



■さぎさか ゆうじ(匂坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 52歳 逗子市沼間1-8-2

略歴：沼間小卒業・逗子中卒業・私立横浜商工高等学校卒業（有）匂坂豊店入社

逗子市商工会青年部長・逗子葉山青年会議所理事長・逗子ロータリークラブ会長

沼間小PTA会長・逗子中PTA会長・市PTA連絡協議会会長・県PTA執行役員

逗子市消防団員・逗子ポイントカード事業協同組合副理事長・逗葉建設組合副組合長

家族構成：妻と長女 次女(高校生) 長男(高校生)

議会職歴：副議長・総務常任委員長・教育民生常任委員長・基地対策特別委員長

議会運営委員長・議会報編集委員長・予算特別委員長・決算特別委員長

現在 4期目 監査委員 所属会派 市政クラブ

令和4年第3回定例会報告

第3回定例会が9月6日～30日に行われました。

今定例会では、令和3年度逗子市一般会計及び

3特別会計歳入歳出決算の認定、下水道事業会計決算の認定の議案が上程されましたが、継続審議となりました。その他、令和4年度の一般会計補正予算を含む議案14件（すべて可決）、その他に決議案、陳情が審議されました。今定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。私は、DX推進、環境施策、子育て支援策、風水害対策、小坪海浜地域の活性化、教員の多忙化について、市長及び教育長に質問をしました。※裏面に一般質問の内容を一部記事にしています。

〔令和3年度 決算状況〕

健全な財政運営の原則である収支の均衡及び財政構造の弾力性についての比率の推移

財 務 比 率 の 推 移

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
令和3年度	17.5%	85.6%	8.6%	0.837
令和2年度	13.1%	93.2%	8.6%	0.861
令和元年度	10.5%	97.1%	8.5%	0.866

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。一般的には3～5%が望ましいとされている。

経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。

一般的には70～80%が望ましいとされている。

公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。

一般的には10%以内が望ましいとされている。

財政力指数：財政上の能力を示す指数。この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

令和3年度一般会計決算では、実質収支額の比率は、17.5%で前年度と比較して4.4ポイント上回り、経常収支比率は、85.6%と前年度と比較して7.6ポイント改善されました。財政調整基金の3年度末現在高が23億7千万円、公共公益施設整備基金10億円を積立しました。財政状況は改善されましたが、少子高齢化が進む中で市税は減少し、扶助費は今後も増加傾向で、さらに公共施設の老朽化対策や災害対策等で、今後も厳しい財政状況が続くと思われます。

## 行政サービスの向上～デジタル化の推進～

## 教員の多忙化対策～教員のサポート体制を～

**問** デジタル技術やデータを駆使し、住民により良い行政サービスの向上、業務の効率化を図ることが重要だと考えます。本年度の取組状況は？

**答** 2022 年度逗子市デジタル化実行計画を策定した。来庁者数を約半分程度にする目標。

「行政手続きのデジタル化」の取組として、

- ・ 転出届のオンライン申請
- ・ 住民票の写し・印鑑登録証明書のオンライン申請
- ・ 犬の広場(ドッグラン)利用登録の電子申請受付
- ・ 課税課・納税課窓口、戸籍住民課窓口及び環境クリーンセンター計量室でのキャッシュレス端末導入

[現在準備中]

- ・ 火災予防分野の各種手続きにおける電子申請
- ・ コンビニエンスストア等における証明書交付
- ・ 市内保育所等の入所申込等の電子申請

**問** 近年、教員不足や教員の長時間労働が問題になっています。本市の公立小中学校の教員の時間外労働の状況と多忙化対策は？

**※時間外が月 80 時間以上は過労死リスクあり**

**答** 教職員の出退勤を把握するために、IC カードによる出退勤管理システムを昨年 7 月に導入。時間外在校等時間が月 80 時間を超えている教職員は、6 カ月間の延べ人数で、小学校 38 人、中学校 14 人。多忙化対策としては、小学校では、留守番電話機能を活用し、電話対応時間を対応している。

**問** 教員の事務負担軽減する目的で、スクールサポートスタッフが各学校に週 17 時間の勤務で県費負担で配置されているが、一日 3 時間程度の勤務では、少ないと思う。増員が必要ではないか？

**答** 来年度、市費負担による増員を検討していきたい。

## 環境施策の取組～カーボンニュートラルの推進～

## 子育て支援の充実～子育てしやすいまちへ～

**問** 逗子カーボンニュートラル 2050 をスローガンに掲げ、市民、事業者と一体となり、2050 年温室効果ガス排出実質ゼロを目指し、様々な取組を実施しているが、今後の取組は？

**答** カーボンニュートラルを進める上で、市民、事業者との協力、連携は必要不可欠です。本市は、住宅都市で大きな企業もありません。地域の資源を最大限活用して、CO2 を見える化して、進行管理を行っていききたい。

**※本年 4 月より逗子市カーボンニュートラル推進補助金を実施しています。ご活用下さい。**

**問** 若い世代が子育てしたくなるまちづくりを進めるためには、子育て支援の充実は欠かせないものと考えます。その中でも、共働き世帯が増加している現状、安心して働ける環境をつくること求められていますが、今後の子育て支援策は？

**答** 来年度、小児医療制度における中学生までの所得制限の撤廃と 18 歳までの対象年齢の拡充、妊産婦健診費用の助成額の増額を検討している。近隣市町が逗子市に比べてサービスが上回っている事業や本市で実施していない事業についても、その見直しの可否を検討している。

皆様の声を聞かせて下さい。  
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先

送り先 FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: [sagisaka@plum.ocn.ne.jp](mailto:sagisaka@plum.ocn.ne.jp)

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。